

皆さん、こんにちは。

最近、原因不明の慢性蕁麻疹に悩まされている、耳鼻咽喉科麻生病院 宮下です。実は私、CT サミットの世話人です。と言っても私の場合、何もしない名誉職の監事です。（世間の監事が何もしないと言う意味ではない。）

ということで CT サミットには毎回参加していますが、このたび北海道 CT 遠友 ser 会から参加レポートの投稿を依頼されたので、感じたままに書かせて頂きます。具体的な内容をお知りになりたい方は、株式会社インナービジョンのインナビネットに取材報告が掲載されています。

“Starting over” をテーマに 20 回の節目を迎えた CT サミットが開催

<http://www.innervision.co.jp/report/usual/20160803>

記事中、私だけ上着を着ていますが、それは会場の冷房が年寄りには冷え過ぎだったためであり、揃いの CT サミットポロシャツを着るのが“なんだかなあ〜！”と気乗りしなかったからではありません（下に着ています！）。また、INNERVISION（インナービジョン）誌では、サミット特別企画として詳細な内容を毎年掲載し、本年も 10 月号に掲載を予定しているそうなので、機会があれば御一読されることをお勧めします。（過去の講演内容は、電子書籍（医学文献）のオンデマンド配信を行っているらしい。）

さて 2013 年より東京定置開催として今回で四回目を数える第 20 回 CT サミットは、2016 年 7 月 9 日（土）昨年と同じ会場（日本教育会館一ツ橋ホール）で開催されました。当番世話人の平野透氏（札幌医科大学附属病院放射線部）は、今回のテーマを「Starting over—次世代技術への第一歩—」として、各領域のトップランナーをプログラムメンバーとして迎えました。

「出来ない理由より出来る理由を考える」

「百折不撓 やり抜くこと」

「新しい技術に幅広く興味を持つ」

「未来を信じられる」

「仕事は楽しく！趣味みたいなもの♪」

「常にその道の挑戦者」

「未来を予測する、実行する」

これらは演者 7 名（機器メーカーによる最新技術紹介の演者は除く）の、“プロフェッショナルとは？”との問いかけ¹⁾に対する回答です。さて皆さん、今回「FFR（機能的血流予備能比）CT、サブトラクション冠動脈 CT」と題して講演された、北海道 CT 遠友 ser 会世話人でもある山口隆義氏（JCHO 北海道病院）の回答は、どれだと思いますか。見事的中された方には、北海道 CT 遠友 ser 会から“おめでとうございます！”の一言があります。それぞれプロフェッショナルとして素晴らしい信条ですね。ちなみに私は全てに共鳴します。

てなことはさておき、「数値流体力学（CFD）解析の活用」と題して講演された笹森大輔氏（札幌白石記念病院）と山口氏の二名が、北海道から選ばれて講演されたことは、同じく CT に拘わる北海道の放射線技師として誇らしい事だと思います。さらに、あくまで私見ですが二人の講演が全体の中でも一番と二番目に素晴らしかった！（どちらが一番かは・・・ご容赦！）今後も CT に関しては、北海道が世界をリードして行くことを期待させるに十分な内容でした。そして両名の講演を含めた 7 名の“次世代技術への第一歩”を拝聴して強く感じたことがあります。それは“未来”であり“希望”です。

数年前まで（私は）全く知らなかった FFR と CFD について、演者が蕩蕩と奏でるのを聞きながら、ごく自然に「CT の未来は明るく、それに携わる者は今後も希望を持てる！」と思えたのでした。当番世話人の平野氏は、CFD 解析のコアメンバーでもある立場から、純真無垢な私が授かったような感銘を、多くの参加者に感じ取って欲しかったのでしよう。

私が座長を務めた佐々木忠司氏（岩手医科大学循環器医療センター）による「超高精細 CT の初期使用経験」以外の講演は、正直私にとってほとんど消化出来かねるものでした。それでも演者の情熱と CT の可能性を肌で感じられる意義深い貴重な経験となりました。

CT サミット監事として一言

ご多分に漏れず CT サミットの運営も岐路に立っています。今回のテーマ「Starting over（新たなる旅立ち、再出発）」の意味もそこにあります。これまでのような特定の企業に頼った研究会の運営手法は、制度的に限界を迎えていることが明らかなようです。今後は、運営する側も参加者も相応の負担と工夫を強いられる事でしょう。しかし未来と希望の芽を育むことが使命と捉えるなら、継続のための方法を模索しなければなりません。まさに石風呂実氏（広島大学病院）の提唱する“志”の理念が試される時かも知れません。

第 21 回 CT サミットは、その石風呂氏を当番世話人として、東京定置開催から一転（急転？）広島（JMS アステール ㈱ 広島）において 2017/07/08（土）に開催されます。皆さん、石風呂色に染まった CT サミットと、今年広島に舞い降りた“オバマの折り鶴”に会いに行きませんか？

1) 補足：文中の“プロフェッショナルとは？”は、当番世話人の発案によって、演者全員（誰も断らないのが凄い！）が「NHK プロフェッショナル 私の流儀」公式アプリにて自主作成した際の“決め言葉”です。私が 7 名の動画を編集して、当日会場にて披露させて頂きました。ご覧になりたい方は、北海道 CT 遠友 ser 会にリクエストすれば、動画をアップしてくれるかも・・・。



Fig. 情報交換会のひとこま

いつも通りの盛り上がりですが、

Dining Cafe Esperia（会場）のスタッフの方、

よりによって私の顔が降りているタイミングで撮らなくても・・・